

## ・・・ 編集後記 ・・・

日本の領土・領海は、地球表面の1%にも満たないのですが、世界の地震の約1割が、日本で起きているそうです。海外サイト(Insidermonkey:2016)によると、「地震の件数の多い順のランキング」で、1位はインドネシア、日本は2位だと報告されています。今年度日本で起きた震度5強の地震だけでも、4月の島根、5月の長野、6月の大阪と続いています。予言説は様々で、そんな非科学的なことは信じられないわけがないと思いつつ、予想外のこと・想定外のことが起こってきた現実の恐さを感じます。日本の活断層と地震発生確率を何度も眺めながら、我々は、建物の倒壊、交通網のまひ、惨事の警告を、心配される巨大地震へ生かしていく方法をあらためて個々人が考えなければなりません。

「臨床検査学教育10・11巻」の編集は、前任の松尾委員長、嶋田副委員長を含む前委員6名に、新しく選任された6名が加わった12名の編集委員、委員長・副委員長の14名で担当しています。第12回の埼玉県立大学で開催された学術大会が終わり、昨年8月末から始まった編集作業。私の担当部分においては、何度も前任の嶋田先生にご教授頂き、また

本誌の創刊から編集・制作に携わられた宇宙堂八木書店の田中部長(本年7月退職)に相談しながらのスタートとなりました。本稿執筆時点になり、10巻1号の発刊と2号の殆どの原稿が揃いそうな安堵の中で、11巻こそ、少しでも無駄を少なく、淡々とこなしたいと切に願っている私です。そのための対策法を考えながら。

今年8月には、北海道大学にて第13回日本臨床検査学教育学会学術大会が開催されます。テーマは、「進化する臨床検査技師教育—教育と学びの真髄を探る—」であり、今後の臨床検査技師教育について、熱ある議論がなされます。この10巻2号がお手元に届く頃には、学会も終了していることでしょう。編集委員会から原稿をご依頼させていただいた先生はもとより、ご発表された多くの先生方の「臨床検査学教育」への自主投稿を心よりお待ちしております。

会員の皆様、また臨床検査学に関係する多くの先生方のご支援をよろしくお願い致します。

(平成30年6月20日 副編集委員長 眞鍋 紀子)

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会

日本臨床検査学教育学会 学術部

編集委員会(平成29・30年度、五十音順、敬称略)

副理事長(学術部)：齋藤邦明(藤田保健衛生大学)

委員長：野島順三(山口大学)、副委員長：眞鍋紀子(香川県立保健医療大学)

委員：長田 誠(群馬パーパス大学)、片岡佳子(徳島大学)、坂口みどり(九州医学技術専門学校)、柴倉美砂子(岡山大学)、嶋田かをる(熊本保健科学大学)、西川 潤(山口大学)、藤田和博(大東文化大学)、外園栄作(九州大学)、松尾収二(天理医療大学)、村上博和(群馬大学)、横尾智子(新渡戸文化短期大学)、横田浩充(東邦大学)

査読者(第10巻1・2号)：市野直浩、伊藤昭三、岡野こずえ、亀山広喜、清宮正徳、高岡榮二、高橋克典、高宮 脩、畑中徳子、森下英理子、横山知行、和田晋一

### 臨床検査学教育 第10巻 第2号

平成30年9月1日 発行

発行人：一般社団法人日本臨床検査学教育協議会  
理事長 奥村伸生  
〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45  
東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科  
生体検査学専攻内

Tel. 080-4893-0572

e-mail : jimukyoku@nitirinkyo.jp

http://www.nitirinkyo.jp

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会  
e-mail : edit@jamte.org

制作：(株)宇宙堂八木書店

〒104-0004 東京都中央区入船 3-3-3

Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770

広告取扱社：(株)日本産業社

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-11

Tel. 03-3238-7501